

NPO法人オンザロード 東日本大震災プロジェクト活動報告書

平成 23 年 5 月 24 日～ 5 月 31 日

【石巻市基本情報】

- 担当地域名：宮城県石巻市渡波地区、女川町周辺
- 避難者人数：石巻市 4,847 人／女川町 1,018 人
- 指定避難所数：石巻市 80 / 女川町 13
- 全壊家屋数+半壊家屋数：石巻市 21,741 / 女川町 3,263
- ライフラインの復旧状況：石巻市内では電気、都市ガスは復旧、水道に関してはほぼ復旧しています。女川町では電気、水道はほぼ復旧、ガスは被害はなし。 ※7月4日宮城県調べ

■現在の活動内容：



チーム編成や物資供給システム、自立自活支援に対するテーマの見直しなどを行いました。現在の支援方法を維持するのではなく、最新のニーズに合わせて、ボランティアとしてできることを検討し実行した 1 週間でした。

□各班の活動内容



●家・道路の片付け班

・ 490 人

- 家の片付け -

- ・ 終了件数：67 件
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区

- 道路の片付け -

- ・ 廃棄物回収量：1,550t / 畳 1,300 枚
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区、石巻市北上町



特殊工作部隊を組んで、津波・地震被害によって倒壊したブロックの解体がスタートしました。今にも倒れそうなブロックを、エンジンカッターやハンマーなどを用いて解体し、運搬します。これについては、専門的な道具が必要なのはもちろん、技術・知識を有したスタッフの確保も必要となるため、土木や解体業の経験者を募り活動しています。また今週からは、側溝（排水溝）掃除の準備をはじめました。市役所との調整や区長さんとの連携、地域の方への呼びかけなど、段取りをふまえながら、実作業の準備も進めています。効果的な蓋の開閉や人員配置を地図上で割り振ったり、試験的に小さな地区の側溝掃除をしたり、これから核となることが予測される側溝掃除に万全の準備を行っています。



●ニーズ調査・受付班

- ・ 7 人
- ・ 依頼件数：61 件
- ・ 担当地区：石巻市渡波地区

個人宅からのニーズは、だいぶ減ってきました。その分、ブロック解体や側溝掃除のニーズが増えました。今後も迅速に対応できるように、道具の準備や消耗品の手配は、先を見据えて早めに動きたいと思います。側溝掃除は、道具はもちろん、かき出した泥を詰める袋が必要になります。またすぐ運搬しないと通行の妨げになるため、ダンプの手配も重要です。

■今後の予定：

引き続きニーズに対応した活動を行いながら、今後の自立自活に向けたサポートを行っていく上で、被災地の実際の状況をアンケート形式で把握し、行政の情報をリサーチしたいと思います。

■課題、ミッション：

ゴールデンウィーク以降、被災地全体のボランティア数も減少しております。そんな中、オンザロードの参加者数は 1 日平均 100 名を超える参加者に恵まれております。これからも日頃の情報発信や、申込みやすいシステム作りを継続し、被災地に実際に足を運んでみようという方がスムーズに参加できるよう努力していきます。ご興味を持っていただいたマスコミ・メディアにはぜひ取材していただき、被災地の現状を発信していただければ幸いです。